

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

事業所番号	3390102899
事業所名	グループホームエルム撫川くるみ庵
自己評価作成日	令和4年6月1日
運営推進会議開催日	令和4年6月24日
外部評価作成日	令和4年7月4日
提出日・公表日	令和4年7月7日・令和4年7月11日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念及び事業所理念を掲げ、それを共有できるように努めている。実践に繋げていくことが課題と踏んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であり、地域との交流機会が少なくなっている。状況を鑑みて交流機会を増やしていきたい。	地域との交流機会が持てるように、入居者だけではなく、職員も地域に出向き交流が図れる機会が増えていけば良いと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策の観点から、集合形式ではなく、文書会議となっているため、意見の共有が課題。	コロナの感染状況を鑑みて、集合形式での開催が増えていけば、多様な意見を聞くことができると思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じて情報共有を行い連携に努めている。	必要に応じて適宜連携を図っている。加算要件や事故報告など、情報共有に努めている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体的拘束・虐待防止委員会を設置して、3ヶ月に1回開催。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	忙しい中でも委員会を実施していることは良いと思う。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会を設置して、マニュアルの見直し、研修を計画している。日々のケアの中で職員の言動など、具体的な事例検討を行い防止に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一つのケースで本人・子・孫など多様なケースがある。早期発見・早期対応に繋げて欲しい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、早急に活用が必要なケースはないが、将来的に検討が必要なケースがあるため、制度理解と活用できるように情報収集を行う。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	親切丁寧な説明を心がけ、理解と納得をいただけるように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で集合形式での開催ができていないが、ご家族からの意見は都度職員へ伝えている。外部への発信は今後の課題である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	文書形式での開催であり、報告資料など郵送でのやり取りで内容を確認していた。今回のような集合形式は顔を見て話しができるのは良いと思う。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスや管理者との面談で意見聴取する機会はあるが、反映に繋がっていないこともある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課で個々の能力に応じた評価ができるように努めている。管理者と半期毎の目標設定を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他法人でも様々な取り組みがされているが、面談を重ねて職員毎に目標設定をしている取り組みは良いと思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外部の研修機会が少なくなっている。今年度は機会を増やしていきたい。職員の育成に関しては個々の能力に合わせた対応が課題である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間研修計画を定め、取り組んでいる点が良いと思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係各所と情報共有を行い交流機会の確保に努めている。他事業所への見学を行っている。			

		サービスの質を向上させていく取り組みをしている					
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物や調理の盛り付け等、生活の中でできることは職員と一緒に取り組むように努めている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所も地域の一員として、これまでの生活が継続できるように努めている。思い出の場所に一緒に出かけるように企画をしていきたい。	ご本人は認知症があるため、ご家族にも協力してもらうことも必要ではないか。施設だけではなく、家族と協同で本人を支えていくことが必要。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	趣味やこれまでの生活で大切にしていたことの把握に努め、楽しい時間を過ごせるように心がけている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じてカンファレンスを開催して、本人の暮らしの中での課題や不安を解消できるよう情報共有に努めている。	介護計画の説明が不十分なこともあり、家族の思いと乖離することもある。本人と家族の気持ちを汲み取り計画を作成するために、面談の機会がもう少しあれば良いと思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的カンファレンスを実施していて、職員が意見交換ができる環境を作っていて点は良い。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	申し送り・個人の介護記録等を利用して情報共有に努めている。統一したケアを行うために、正しい情報を正確に伝えられるようにしていく。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録がケアプランに反映されるように、統一して記録を残すことが望ましい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通院の援助、買い物同行及び代行等、個々のニーズに合わせた対応に努めている。	外出や買い物だけではなく、訪問診療や薬局などとの連携で柔軟な対応に繋がっていると思う。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で地域に出ていく機会が少なくなっている。地域資源の把握と活用ができるように努めている。	地域資源の把握をすることも大切だが、既存の資源だけではなく、資源の掘り起こしも考えていくと良い。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人及び家族の意向を踏まえ、かかりつけ医の選択を行い、訪問診療で24時間の連携が図れている。訪問診療以外も主治医と連携が図れるように努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には施設での生活を伝えるため、介護添書等で情報提供を行っている。退院時も医療機関のMSW等と連携を図り退院調整を行っている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院の調整、退院時支援の連携が図れていると思う。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて医師を交えて話し合いを行い、本人・家族の思いと事業所としての対応を確認して、重度化・終末期の支援を行っている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心して入居できるように、重度化した場合の指針が整備されていて良い。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを作成している。実践的な訓練は今後の課題として認識している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法令に沿って定期的に火災を想定して訓練を行っている。水害訓練に関しては地域との協力体制を構築していくことが課題である。	災害が年々増えてきている。法令に沿った訓練だけではなく、地域の実情に対応した訓練も必要となるため、地域との合同訓練なども検討してみたい。	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な災害について地域で防災意識を高めていけるように取り組んで欲しい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮し、また尊厳が確保されるように努めている。		A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も利用者のプライバシーと尊厳を確保できるケアを継続して欲しい。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心して過ごせるように座席を決めているが、その他は自由に過ごせるように努めている。その日の過ごし方を決めることは今後の課題と認識している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べるだけでなく、配膳・下膳・食器を拭くことも職員と一緒にしている。楽しく食事ができる雰囲気作りに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が役割を持って生活できるように、食器を拭くことや盛り付けと一緒に取り組んでいる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事。水分の摂取量を記録して、必要に応じて形態の変更を検討する。また主治医と連携を図っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科を利用している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後の口腔ケアに加えて、訪問歯科とも連携を図り、口腔内の清潔保持に努めている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の記録をして、パターンの把握や時間帯・排泄量に応じて紙パンツや尿取りパットの変更を行っている。便秘に関しても内服で調整を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録の用紙も工夫していて、パターンの把握に努めている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要最低限で曜日や時間の設定を行っている。入浴中はリラックスできるように努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間のサイクルの中で、一人ひとりの生活リズムを尊重して、安心して眠れるように努めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居宅療養管理指導として、薬剤師と相談をして、内服支援、状態の変化の把握に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の情報や内服方法など、薬局と連携が図れている。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力に応じた役割を持つことで、施設での生活にメリハリが持てるように努めているが、今後の課題と認識している。	野菜や花を育て、世話をするなどの取り組みがある。今後は余暇活動が充実できるように取り組んでいく必要がある。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気分転換に敷地内の散歩等の外出機会はあるが、普段行けないような場所は行事として企画して実施している。	敷地が広いので外出も気軽にできる場所は良いと思う。普段行けないような場所は安全性にも考慮して検討して欲しい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	現金でのやり取りは行っていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば家族等と電話でのやり取りを行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家具の配置等、入居者のその時の状況に応じて変更を行っている。季節を感じてもらえるように、壁画を一緒に作成して飾っている。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	フロア面積が広くとられていて、死角になる部分の工夫に悩んでいる様子ですが、広いからできることもたくさんあるので、メリットと捉えて良いと思う。季節の制作物があり良かった。

**IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)**

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	意向に沿った暮らし方が出来ている方もいれば、そうでない方もいる。本人の思いに寄り添ったケアを心がけている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使っていた家具を使用している。入居したことでこれまでの習慣や関係性が途切れないように留意している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々変化するものであり、状況に応じた暮らしができるように、状況把握に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症があるため、全ての把握は難しいが、その時の状況に合わせて対応を継続して欲しい。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	自宅で過ごしていた習慣は極力継続できるように努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	自宅で使っていた家具や馴染みのものを持参している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していたものを搬入していて、馴染みやすい環境になっている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	個々の希望を踏まえて、行事として外出する機会がある。地域での催しに参加できる機会を増やしていきたい。	コロナ禍で積極的には難しいと思うが、入居者にいろいろな選択肢を提案し、自己決定できる環境を増やして欲しい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	その時々状況を楽しんでもらえるように、サービス提供を行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	職員が介入して、入居者同士の会話やユニットの職員以外の人と関わる機会を設けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自発的には難しい方もいると思うので、職員の方が仲介して、コミュニケーションが取れる環境を今後も景況して欲しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	コロナ禍で思うような関りができていない。今後は交流機会を増やしていきたい。	徐々に交流機会が増えていくことを期待している。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	本人が安心して穏やかに過ごせる日々が一日でも長く継続できるように、今後も努力をしていく。	施設だけではなく、地域にも支えられて生活ができるように今後も関係各所と連携を図っていく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	課題がたくさんあるように感じているようですが、新設の事業所としてはしっかりと取り組んでいると思う。今後も継続をしていくことで、利用者の安心の日に繋がるの今後も期待している。

